



## ～ 新任のごあいさつ ～

いけがわ やすひろ

外科 池側 恭洋



平成29年4月から若草第一病院外科および救急診療科に赴任することとなりました、池側恭洋と申します。平成20年自治医科大学医学部を卒業し、大阪府立急性期・総合医療センターで2年間の初期臨床研修を積んだ後、主に、大阪府立中河内救命救急センターで、救急医療に従事しつつ、一定期間、大阪府立急性期・総合医療センターで外科修練を積んだり、大阪府庁で行政医として、大阪府全体の救急医療体制の整備に携わったりしてまいりました。

救命センターでは、内因・外因を問わず、中等症・重症患者の初期対応および全身管理を行ってまいりましたが、個人的には、体幹部の救急疾患・外傷の他、重症熱傷の治療に、特に関心を持ち、取り組んできました。

また、行政では、府全体や各地域の医療需要と資源の特徴を把握し、それに見合ったルール作りをし、PDCA (Plan-Do-Check-Action) サイクルを回すことで、傷病者の重症度と搬送先医療機関のミスマッチや、いわゆる「搬送困難症例」を減らすことに取り組んできました。ただし、これは行政機関の施策だけで成功するようなものではなく、消防機関・医療機関が、各地域において、自機関に求められている役割や、定められたルールをしっかり理解することで初めて成就されるものです。

このような学びを経て、私自身、若草第一病院が、救急医療だけでなく様々な分野に関しても、この地域においてどのような役割を求められているか、ある程度理解しているつもりです。この病院へ赴任して数か月が経過しますが、当院は、地域医療連携室をはじめ、各職種のスタッフが、自身の立場や役割をしっかりと理解し、地域のために努力を惜しまないという姿勢を強く持っており、非常に素晴らしいと感じています。自分自身は、外科医としてはまだまだ駆け出しではありますが、微力ながらも、これまでの経験や知識、強みも活かしつつ、若草第一病院の一員として、地域の先生方ともうまく連携を取り、地域住民に満足してもらえる医療を提供していけたらと考えています。